



へいあん  
平安を

いの  
祈っています

かいちゆうじ  
海中寺の阿弥陀様

木彫阿弥陀如来立像（県重宝）  
海中寺の本尊は阿弥陀様と呼ばれています。この  
仏像は鎌倉時代（一一九二～一三三三年）に作られ  
たと考えられています。木彫りで全体が黒い色な  
で黒仏様とも呼ばれています。衣には金襴様がかす  
かに残っています。右手は上を左手は下を指し、天  
地の平安を見守っています。



ほお  
頬が落ちそう

ほたて  
帆立の貝焼き

帆立の貝焼き  
野辺地の帆立はとても美味しいので全国各地に出  
荷しています。帆立料理はお刺し身や煮付け、塩焼  
きにして食べます。特に貝焼きは簡単に調理でき  
美味しく食べられるので、今ではパーベキューで大  
人気メニューとなっています。



まれ  
稀に見る大きさ

じょうもん  
縄文の板状立脚土偶

板状立脚土偶（町指定有形文化財）  
約三五〇〇年前の縄文時代の有戸島井平遺跡から  
発掘された板状立脚土偶は、高さが三十二センチメ  
ートルと大きく、完全な形で見つかりました。顔に  
いれずみと思われる模様があり、首飾りをつけて服  
を着ている姿で、私たちに縄文人のくらしを語りか  
けているようです。



みは  
見晴らしの良い

あたごやま  
愛宕山に立つ

ばしやう  
芭蕉 啄木 絶壁の碑

愛宕公園と三つの碑  
陸奥湾と町を展望できる愛宕公園は、憩いの場と  
して明治十八年から整備されるようになりました。  
園内には、みちのくを旅した松尾芭蕉の句碑や野辺  
地の常光寺を訪れた石川啄木の歌碑、町の歴史や民  
俗を研究し、また多くのすぐれた俳句を作った中市  
謙三（絶壁）の句碑があり、文学のおりがただよ  
つています。